

## 充実した楽しい高校生活のスタート ～入学式 学校長式辞から～

4月9日（月）、平成30年度入学式を行いました。33名（男子23、女子10）が氷上西高校第45回生として入学しました。



### 【平成30年度入学式 学校長式辞から抜粋】

本校は、平成二十四年度に、連携型中高一貫教育校として新たなスタートを切りました。「地域の輝く星となれ」のスローガンのもと、地域と連携して、ふるさと丹波の将来に貢献できる人材を育成する特色ある教育活動を行っています。

これから三年間の充実した高校生活をスタートするために、本校の校訓である「自主・互譲・責任」のもと、次の三つのことを実行してほしいと思います。

#### ①「自主的に行動することで自分の持つ可能性を伸ばす」

学校行事や部活動、ボランティア活動等に自主的に取り組むことで、いろいろなことに挑戦し、積極的に自分の良いところを伸ばし、将来の夢や希望の実現につなげてください。

「太陽は、夜が明けるのを待って昇るのではない。太陽が昇るから、夜が明けるのだ」これは、兵庫が誇る偉大な教育者・東井義雄さんの言葉です。夜明けは、待っていてもやって来ない、自分が行動することによって初めて、夜明けをもたらすことができるという意味です。つまり、ほかの人やまわりの人が何かしてくれるのを待っていても何も始まりません。まず自分から行動しないといけないということを言っています。

#### ②「強い心と温かい心を持つ」

本校の校訓である「互譲」とは、「互いに譲り合う」という意味ですが、英語で言うと「ワンフォーオール・オールフォーワン」です。相手の意見や立場を理解し、お互いに尊重し、助け合いながら仲間と切磋琢磨し共に成長していきましょう。高校時代は、人生や進路、友情等について深く考え、時には迷い、悩む時期でもあります。そんなときにも、くじけない強い心を持ち、互いに助け合い、励まし合えるような、思いやりのある温かく力強い人間として成長してほしいと思います。

#### ③「規律を守り責任ある行動を取る」

挨拶ができる、掃除ができる、時間を守ることができる、清潔感のある身なりができる、その場にふさわしい誠実な行動が取れるということは社会に出てからも求められます。本校における規律ある高校生活をとおして、社会人として必要となる役割と責任を体得してほしいと思います。



（校長 高橋信之）